

試合番号 : 418		試合会場 : 埼玉県立武道館				観客数 : 1,903					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:25		試合時間 : 01:25		主審 : 浅井 唯由		副審 : 饗庭 和恵			
久光スプリングス			通算	16勝	4敗	トヨタ車体クインシーズ			通算	11勝	10敗
			ポイント:	46					ポイント:	34	
監督コメント	トヨタ車体は、サーブが良いチームということで自分たちが良い状態でなくても、しっかり点数を取ることをミーティングで伝えて試合に入った。			3	25	第1セット	23	0	本日のゲーム0-3で敗れ、非常に悔しいゲームであった。久光の良い状態でのオフェンスに、自チームのプロアディフェンスの対応ができなかったのが敗因であった。 まずV・レギュラウンド残り1試合今週の反省をし、修正していきたい。昨日でファイナル6を決めたものの、そこで戦うための準備もしていない。今週も応援ありがとうございます。来週も引き続きよろしくお願います。		
	試合の中で難しい時間帯もあったが、セットを落とさずに勝ち切れたことは素直に喜ぶたい。				25	第2セット	15				
	2日間、寒中、熱い応援ありがとうございます。				25	第3セット	22				
	来週はよいよV・レギュラウンド最終週で、佐賀のホームゲームでもあります。				第4セット						
	来週もたくさんの応援よろしくお願います。				第5セット						
要約レポート											
V・レギュラウンドを上位で締めくくりたい久光スプリングスとトヨタ車体クインシーズとの一戦。 第1セット、序盤はトヨタ車体のリードで進むが、久光はアダムスの小気味よいブロックやスパイクで逆転する。しかし、久光の隙をつく攻撃にもトヨタ車体は食らい付き、ファンヘックや長野のスパイクで巻き返しを図る。後半は久光が中島の連続得点でリードする。その後、トヨタ車体は鳴原のサーブエース、長野のブロックをきっかけに23点まで追い上げたが、最後は久光が濱松の見事なブロックを決め、白熱したこのセットを取った。 第2セット、トヨタ車体はハッタヤと大川のコンビなど多彩な攻撃を仕掛けるなど、両チームとも相手の動きをよく見た一進一退の攻防が続くが、久光は平山や中島の相手のミスを誘う攻撃で得点を重ね、久光はその後アダムスや長岡の伸びやかなスパイクで順調に得点を重ね、大きく点差を広げてこのセットを終えた。 第3セット、トヨタ車体は鶴谷の連続得点と大川の完璧なブロックで勢いを付け、スタートから大きくリードする。中盤、久光は中島、アダムス、長岡のスパイクで連続得点を重ねた後、同点まで追いつく。その後は両者譲らずのこもった攻撃で拮抗するが、ラストは久光の平山、長岡、アダムスの狙いを定めたスパイクでこのセットも奪い取り、ストレートでこのゲームに勝利した。											
試合番号 : 419		試合会場 : 埼玉県立武道館				観客数 : 1,903					
開始時間 : 15:45		終了時間 : 18:24		試合時間 : 02:39		主審 : 津嶋 由香		副審 : 渡部 菜保子			
埼玉上尾メディックス			通算	15勝	5敗	日立Astemoリヴァーレ			通算	9勝	12敗
			ポイント:	44					ポイント:	26	
監督コメント	埼玉上尾ホームゲーム2連勝おめでとうございます。日頃より大変お世話になっている皆様の前で、白熱したゲームをお見せすることができたことを大変嬉しく思います。日立Astemoリヴァーレのパフォーマンスも素晴らしいです。両チームのバレーボール愛や努力、献身、勇気がぶつかり合っ、もがきながらたくさん成長することができました。両チームの選手たちを心から讃えたいと思います。素晴らしい試合でした。これからも応援よろしくお願います。			3	22	第1セット	25	1	負けたいは悔しい一言です。ですが、いつまでも続いても欲しいと思うようなゲームをしてくれた両チームの選手を称えたいと思います。 1LEGでは手も足も出ないような敗戦から、大きく成長を感じられた一戦でした。昨日、今日のゲームで欲しかったあと1点を取るために、レギュラウンドラスト1戦をチーム全員で戦い抜きたいと思ひます。埼玉上尾メディックスのホームゲームでしたが、それに負けぬ声援を送って下さったファン、サポーターの皆様、ありがとうございます。		
	ホームゲーム2連勝で上位進出を目指す埼玉上尾メディックスと、一つでも勝利を積み上げていきたい日立Astemoリヴァーレとの一戦。				31	第2セット	29				
	第1セット、埼玉上尾はロフ、黒後のスパイクや山中のブロックで流れを掴もうとするが、日立Astemoは野中、オクム大庭、長内のスパイクで終盤抜け出し、最後は長内が決め切り25-22で日立Astemoがものにした。				25	第3セット	23				
	第2セット、日立Astemoは長内のサーブエースで序盤から抜け出そうとするが、埼玉上尾は佐藤、ロゾのスパイクで追いつくことに成功する。中盤から日立Astemo渡邊、長内がスパイクを成功し6点差まで離す。埼玉上尾は途中交代で入った仁田のスパイクやサーブで入った若澤がチームの雰囲気を変え、逆転に成功する。終盤両チームにブロックポイントが生まれ、拮抗した展開となる。最後は埼玉上尾ロゾがスパイクを決め31-29でセットを取り返す。				第4セット		31				
	第3セット序盤、埼玉上尾は黒後、青柳のスパイクで第2セットの流れをそのままに点差を離していく。日立Astemoは長内、渡邊、室岡のスパイクで応戦しようとするが埼玉上尾は佐藤、ロゾのスパイクで点差をつけると、最後はロゾがスパイクを決めこのセットもものにす。				第5セット						
要約レポート											
ホームゲーム2連勝で上位進出を目指す埼玉上尾メディックスと、一つでも勝利を積み上げていきたい日立Astemoリヴァーレとの一戦。 第1セット、埼玉上尾はロフ、黒後のスパイクや山中のブロックで流れを掴もうとする。日立Astemoは野中、オクム大庭、長内のスパイクで終盤抜け出し、最後は長内が決め切り25-22で日立Astemoがものにした。 第2セット、日立Astemoは長内のサーブエースで序盤から抜け出そうとするが、埼玉上尾は佐藤、ロゾのスパイクで追いつくことに成功する。中盤から日立Astemo渡邊、長内がスパイクを成功し6点差まで離す。埼玉上尾は途中交代で入った仁田のスパイクやサーブで入った若澤がチームの雰囲気を変え、逆転に成功する。終盤両チームにブロックポイントが生まれ、拮抗した展開となる。最後は埼玉上尾ロゾがスパイクを決め31-29でセットを取り返す。 第3セット序盤、埼玉上尾は黒後、青柳のスパイクで第2セットの流れをそのままに点差を離していく。日立Astemoは長内、渡邊、室岡のスパイクで応戦しようとするが埼玉上尾は佐藤、ロゾのスパイクで点差をつけると、最後はロゾがスパイクを決めこのセットもものにす。 第4セット序盤、若澤のサーブアタック、ロゾのブロックにより点差を離しにかかる。日立Astemoは野中、ヌクジャンのスパイク、渡邊の連続ブロックで13-13と同点に並ぶことに成功する。終盤、埼玉上尾は佐藤がスパイクを決め、日立Astemo室岡が決める展開となる。最後は埼玉上尾・青柳がスパイクを決め、埼玉上尾がホームで2連勝した。											
試合番号 : 420		試合会場 : 黒部市総合体育センター				観客数 : 872					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:59		試合時間 : 01:59		主審 : 森口 豊		副審 : 佐々木 伸子			
KUROBEアクアフェアリーズ			通算	4勝	17敗	PFUブルーキャッツ			通算	6勝	14敗
			ポイント:	15					ポイント:	17	
監督コメント	今シーズン最後のホームゲームということで、全員で勝利を目指して戦いましたが、敗戦という結果となり残念です。しかし、どんな状況においても、我々に大きな声援を送ってくれたファンの皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。苦しい時に何度も助けられました。残り1試合となりましたが、ファンの皆様と勝利を分かち合えるよう、持てる力を全て出し切ったで戦いたいです。 本日、たくさんの熱い応援をありがとうございました。			1	25	第1セット	20	3	KUROBEアクアフェアリーズのホームゲームで、スタートから会場の雰囲気と相手チームの勢いにのまれ、相手のペースでゲームが進んでしまいましたが、第2セット終盤からブロックが機能し、セットを奪ったことが勝利につながったと思います。 劣勢の時もコート内で選手同士が声を掛け合っていたので、安心してゲームを任せることができました。 会場まで足を運んでくださった皆様、パブリックビューイングに来てくださった皆様、本当にありがとうございました。		
	今回の震災を受け「がんばろう!北陸」のスローガンのもと、共に地域を勇気づけるような戦いをしたいPFUブルーキャッツとKUROBEアクアフェアリーズとの北陸ダービー。				25	第2セット	27				
	第1セット、PFUはバルデス、大熊が、KUROBEはコクラム、高橋が得点を重ね、中盤まで接戦の展開となる。KUROBEが13-13から高橋のスパイク、佐藤(黎)の連続サーブエースなどで4連続得点しリードする。その後高橋の攻撃などで3連続得点しPFUを突き放す。PFUも選手交代を繰り返す。流れを変えようとするも叶わず、KUROBEが先取した。				18	第3セット	25				
	第2セット、序盤からPFUが先行しKUROBEが追い掛ける展開となる。PFUが12-10から細沼、高相の攻撃などで3連続得点し5点差とするも、ここからKUROBEがコクラム、リリーフサーバーの秋重のサーブエースなどで徐々に追いつき、デュースとなる。最後はPFUのバルデスが連続でアタックを決めて奪い返した。このセット、バルデスが13本のアタックを決める活躍をみせた。				第4セット		25				
	第3セット、KUROBEはセッター安田を先発させる。PFUが序盤にバルデスのアタック、細沼のブロックなどで5連続得点し主導権を握ると、このリードを活かし終盤へ。最後は大熊のアタック、ブロックなどで3連続得点し連取した。				第5セット						
要約レポート											
今回の震災を受け「がんばろう!北陸」のスローガンのもと、共に地域を勇気づけるような戦いをしたいPFUブルーキャッツとKUROBEアクアフェアリーズとの北陸ダービー。 第1セット、PFUはバルデス、大熊が、KUROBEはコクラム、高橋が得点を重ね、中盤まで接戦の展開となる。KUROBEが13-13から高橋のスパイク、佐藤(黎)の連続サーブエースなどで4連続得点しリードする。その後高橋の攻撃などで3連続得点しPFUを突き放す。PFUも選手交代を繰り返す。流れを変えようとするも叶わず、KUROBEが先取した。 第2セット、序盤からPFUが先行しKUROBEが追い掛ける展開となる。PFUが12-10から細沼、高相の攻撃などで3連続得点し5点差とするも、ここからKUROBEがコクラム、リリーフサーバーの秋重のサーブエースなどで徐々に追いつき、デュースとなる。最後はPFUのバルデスが連続でアタックを決めて奪い返した。このセット、バルデスが13本のアタックを決める活躍をみせた。 第3セット、KUROBEはセッター安田を先発させる。PFUが序盤にバルデスのアタック、細沼のブロックなどで5連続得点し主導権を握ると、このリードを活かし終盤へ。最後は大熊のアタック、ブロックなどで3連続得点し連取した。 第4セット、勢いこのPFUが序盤から得点を重ねリードを広げる。KUROBEも14-21から途中交代の秋重、梅津のアタックで3連続得点を重ね21-23と2点差まで追いつけるが、最後はPFUのバルデスのアタック、細沼のブロックが決まり、PFUが勝利した。											
試合番号 : 421		試合会場 : 黒部市総合体育センター				観客数 : 872					
開始時間 : 15:50		終了時間 : 17:41		試合時間 : 01:51		主審 : 戸川 太輔		副審 : 吉岡 奈々			
東レアローズ			通算	8勝	13敗	JTマーヴェラス			通算	20勝	0敗
			ポイント:	23					ポイント:	57	
監督コメント	スタートからサーブで攻めて主導権を取りかかったのですが、先行される展開が多かったです。JTマーヴェラスの強いサーブをセッターにきれいに返球できなかった。しっかりとキープして、そこから攻撃を機能させられたことは、とても良かったです。 私たちは、次週が今シーズン最後のリーグとなります。リーグを通して成長した姿をお見せできるように、しっかりと準備して戦います。 本日は応援ありがとうございました。			1	21	第1セット	25	3	本日もたくさんの応援ありがとうございました。今日の1戦も自分たちの成長に繋げられるような戦いができるように全員でしっかりと準備して試合に臨みました。相手の最初の攻撃は防いでいるものの、そのあとの攻撃の精度をチームとして改善していく必要があると思います。メンバーが変わる中でも勝ち切れていることは、選手の頑張りがあってからだと思います。レギュラウンドも残り2試合となりました。目の前の1戦に集中して、団結力を強めチーム一丸となり戦っていききたいと思ひます。引き続き熱い応援よろしくお願います。		
	レギュラウンドを全勝で首位を走るJTマーヴェラスと、8位の東レアローズとの対戦。				22	第2セット	25				
	第1セット、一進一退の序盤、JTが9-8からサンティアゴのブロックに東レのミスが重なり3連続得点でリードを広げ終盤に入る。東レもヌワカロールにトスを集めて反撃し20-22と2点差まで追いつけるが、JTが田中、ドルズの攻撃で突き放し先取した。				25	第3セット	22				
	第2セット、立ち上がりから勢いになったJTがドルズの攻撃などで4連続得点を2度重ね8-1と大きくリードする。ここから東レが深澤、ヌワカロールの攻撃などで徐々に点差を詰め12-13と1点差まで追いつく。JTが17-16から遠出のブロックに東レのミスも重なり3連続得点でリードを広げ、最後は途中出場の宮部がスパイクを決め連取した。				第4セット		25				
	第3セット、序盤、JTにミスが重なり東レが9-5と主導権を握る。終盤までJTのドルズのブロック、西川の攻撃などで2度1点差まで追いつけられるも、東レが粘り強いレシーブからヌワカロール、深澤の攻撃で突き放し、逆転を許さずこのセットを奪い返した。				第5セット						
要約レポート											
レギュラウンドを全勝で首位を走るJTマーヴェラスと、8位の東レアローズとの対戦。 第1セット、一進一退の序盤、JTが9-8からサンティアゴのブロックに東レのミスが重なり3連続得点でリードを広げ終盤に入る。東レもヌワカロールにトスを集めて反撃し20-22と2点差まで追いつけるが、JTが田中、ドルズの攻撃で突き放し先取した。 第2セット、立ち上がりから勢いになったJTがドルズの攻撃などで4連続得点を2度重ね8-1と大きくリードする。ここから東レが深澤、ヌワカロールの攻撃などで徐々に点差を詰め12-13と1点差まで追いつく。JTが17-16から遠出のブロックに東レのミスも重なり3連続得点でリードを広げ、最後は途中出場の宮部がスパイクを決め連取した。 第3セット、序盤、JTにミスが重なり東レが9-5と主導権を握る。終盤までJTのドルズのブロック、西川の攻撃などで2度1点差まで追いつけられるも、東レが粘り強いレシーブからヌワカロール、深澤の攻撃で突き放し、逆転を許さずこのセットを奪い返した。 第4セット、JTはセッター柳井と宮部を先発させる。一進一退の展開で進むが、JTが13-12からドルズ、西川の攻撃で連続得点しリードすると、18-15から途中出場の和田のサーブで東レのレシーブを崩し、4連続得点して一気に突き放す。JTが勝利し全勝を守った。											

※本票の著作権は、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。

試合番号 : 422		試合会場 : 西尾市総合体育館				観客数 : 1,341				
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:34		試合時間 : 01:34		主審 : 小松 剛		副審 : 富田 博一		
デンソーエアリービーズ		通算	11勝	10敗	25	第1セット	14	通算	0勝	20敗
		ポイント :	37					ポイント :	1	
監督コメント	昨日の敗戦を糧にホームで何とか1勝するためにチーム一丸となり、試合に臨みました。									
	第1セットはオフェンスで攻め続け、他のプレーでも良いリズムを作ることができました。									
	第2セットからは相手の粘り強いディフェンスや勢いのある攻撃に苦しめられましたが、交代選手も含めチーム全員で状況を打破できました。									
	今シーズン最後のホームゲームで勝利を挙げられたことを嬉しく思います。たくさんのご声援本当にありがとうございました。今後とも引き続きよろしくお祈りいたします。									
	V・ファイナルステージ進出に向けて負けられない6位のデンソーエアリービーズと初勝利を争うプレステージ・インターナショナルアランマーレの対戦。第1セット、デンソーは相手のサーブレシーブを崩しながらプレッシャーをかけていく。セッター山口のトスも偏らずサイドアウト、ミドルブロッカーに配給されていたのが印象的だった。両チームともに粘るラリーが続いた場面デンソー中元が決めた切ったアタックはチームに勢いを与え、最後は横田(真)のアタックが決まり先取した。アランマーレは伊藤のアタック、サービスエースで追い上げるも一歩及ばなかった。									
要約レポート	第2セット、アランマーレが第1セットのスタメンを3名代えてスタートした。序盤からセッター赤星はミドルブロッカーの佐藤を使い積極的に攻撃を仕掛けると、ブロックやアタックが決まり終盤まで流れを作った。木村のアタックも好調で、アランマーレがそのまま行くかと思われたが、デンソーがロザリア、山下のアタックでじわじわと追い上げをみせる。横田(真)がブロックを決め24-24と追いつくと、ロザリアにボールを集めたデンソーが大逆転で連取した。									
	第3セット、デンソーは中元のブロックが決まりスタートダッシュを決める。横山、横田(真)のアタックやロザリアの活躍で徐々に点差を広げると、中元のアタックも決まり、このセットを取り切ったデンソーはV・ファイナルステージ進出を決めた。アランマーレは伊藤、前田のアタック、メソマチのブロックで猛追するも初勝利には届かなかった。									

試合番号 : 423		試合会場 : 西尾市総合体育館				観客数 : 1,341				
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:48		試合時間 : 01:48		主審 : 種元 桂子		副審 : 内藤 聡美		
NECレッドロケッツ		通算	17勝	4敗	23	第1セット	25	通算	6勝	14敗
		ポイント :	50					ポイント :	19	
監督コメント	昨日もたくさんの応援ありがとうございました。シーガルズは粘りの素晴らしいチームですので、ラリーが続くことが当たり前だと考えて粘り負けないこと、ラリーの中で動きのメリハリや準備を怠らないことをチームの中でフォーカスして挑みました。オフェンスの決定打の部分でセッターとスパイカーが常にコミュニケーションを取りながら戦えたことが良かったと感じています。									
	レギュラーラウンドの最終戦に向けて、また1週間良い準備をして挑みたいと思います。次週も熱い応援をよろしくお祈りいたします。									
	昨日の勢いが第1セットまではありましたが、第2セットは焦りが出たことが失速の原因となってしまった。流れを活かす工夫をチーム全体で共通認識し、成長していくことがthinkingバレーの完成に近づく。									
	来週のホームゲームに向け、頑張っていきたい。2日間に渡り遠方より足を運んで下さった皆様、熱いご声援、誠にありがとうございました。									
	目下3連勝中のNECレッドロケッツと2連勝中の岡山シーガルズの対戦は、高さで勝るNECが勝利を取め、連勝を4とした。第1セットは、岡山がNECの強打を拾ってつなげ、得点に結びつける場面が多みられた。攻撃面では、佐伯がバワフルなアタックを何本も決め、岡山がセットを先取した。第2セットは、NECがドルズの連続ブロック等により3-0と好スタートを切った。その後も3連続ブレイクで9-2とリードを広げると、終盤には古賀がレフトから連続でスパイクを決めてセットを奪い返した。									
要約レポート	第3セットは、4-4から古賀がスパイクを2本連続で決めると、山田が前衛ねらいのサブでエースを奪って7-4とし、NECがペースを握った。NECはその後、古谷と塚田がサービスエースを奪い、甲が2本ブロックを決めるなど、そつのないバレーでセットを連取した。									
	第4セット、NECは、このセットから投入された岡山のセッター濱田の速いテンポのトス回しに苦しめられた。しかし、9-10からドルズが強烈なアタックを打ち込み同点にすると、さらにドルズは2本連続で強打を決めた。続くラリーでは古谷が相手のライトをブロックすると、さらにドルズが相手のレフトをシャットアウト。この5連続得点で勝負あり。その後も山田が2本のブロックを決めるなど、岡山の追い上げを許さなかった。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	-勝	-敗		第1セット		通算	-勝	-敗
		ポイント :	-					ポイント :	-	
監督コメント										
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	-勝	-敗		第1セット		通算	-勝	-敗
		ポイント :	-					ポイント :	-	
監督コメント										
要約レポート										